

平成19年6月20日

各位

財団法人川崎市産業振興財団
株式会社りそな銀行

「地域社会発展」のための包括的連携に係る協定の締結について

川崎市産業振興財団（理事長 君嶋 武胤）とりそな銀行（社長 野村 正朗）は、本日、「地域社会発展」のための包括的な連携に関する協定を締結致しました。

本協定は、川崎市産業振興財団とりそな銀行が、従来の産業支援連携の枠にとどまらず、広範囲な連携による相互協力を行い、人的・知的資源を積極的に交流させることで、「地域社会の発展に貢献していくこと」を目的としております。

川崎市産業振興財団の有する、市内を中心とした強固なネットワークおよび創業支援、産学連携に係る仕組やノウハウと、りそな銀行が有する、全国規模のネットワークおよび地域に密着した金融機関としての機能やソリューション力を融合することにより、相互のお客さま並びに支援企業、協力機関等へのより高品質なサービスの提供を図るとともに、本協定の締結を通じて地域社会の発展に努めて参ります。

【包括的連携に係る具体的施策】

1. 産業支援連携の推進

川崎市産業振興財団とりそな銀行は、昨年度より川崎市産業振興財団主催の「かわさき起業家オーディションビジネス・アイデアシーズ市場」にりそな銀行が協賛企業として参加するとともに、りそなキャピタル株式会社（投資）を含めた3者連携によるコラボレーションファンド「かわさきビジネスファンドA V A N T I」を創設する等、ポテンシャルの高い、いわゆる“川崎元気企業”の発掘、育成について深い連携を築いて参りました。

今後は、更に総合的な産業支援連携を目指し、従来からの事業ニーズに応じた相互の企業紹介の機能に加え、川崎市への企業誘致や関西等他府県の企業と川崎市内企業とのビジネスマッチング等の全国ネットでの積極展開等、両者のネットワークを通じて中小企業支援機能の一層の充実を図って参りたいと考えております。

2. 産学官連携の機能強化

川崎市産業振興財団とりそな銀行は現在独自に実施している産学連携推進事業において、相互に協力し有機的なネットワークを構築していきます。具体的には、りそな銀行は産業支援連携の一環として、川崎市内のお取引先企業からの産業技術や新規事業開発に関する相談に対し、川崎市産業振興財団をご紹介し、大学等研究機関との連携機能を拡充していきたいと考えております。また、川崎市産業振興財団はりそな銀行が実施しているインターンシップ制度の活用や学生による街づくり提案の参画等を通じて商業分野における連携機能強化を図って参ります。

3. 中心市街地活性化への取組～REENALプロジェクトとの融合～

川崎市産業振興財団が主催する川崎駅周辺での“まちづくりフォーラム”へのりそな銀行の社員の参画や地元協議会へのりそな銀行の参加を通じて地域に貢献してまいります。さらに、ネットワークのある大学並びに取引先企業の協力を得て、また独自のビジネスモデルである地域運営より派生した“REENAL プロジェクト”との融合を通じて、商店街をはじめとした商業施設や中心市街地等の更なる活性化や“音楽のまちかわさき”等のイメージアップ戦略に貢献して参りたいと考えております。

4. 人的交流とプロジェクトチームの組成

本提携の締結に先立ち、多様なコーディネーター等も含め、有機的なネットワークを構築するために、りそな銀行より川崎市産業振興財団に人員を1名派遣しました。更に、川崎駅周辺市街地の活性化等に向けて、双方より選出したメンバーに当該出向者を加えた10数名でプロジェクトチームを組成、具体的な事業展開策を検討して参ります。

上記の各種施策以外にも、今後、本協定の趣旨に鑑み、双方が連携することで有益であると考えられる事項については積極的に推進して参ります。

以 上